

水分がある環境下における除菌効果比較

	クリアスイ(次亜塩素酸水)	アルコール製剤	次亜塩素酸ナトリウム
効果	高い水準	基本的に水環境下で効果は薄い。	低い
適応微生物の範囲	芽胞形成菌を含んだ全ての大腸菌、 バクテリア、ウイルス、糸状菌、カビ、 藻類に対して広範囲に効果がある、	使用量により大腸菌類を除菌できる が糸状菌や芽胞形成菌などに対して は効果が見えない。	殆どのウイルス、糸状菌、カビおよび 芽胞形成菌に対して効果の期待は 持てない。
除菌時間	15秒から数分以内	数分以上でも疑問	低濃度で疑問(1,000ppm以上か?)
使用濃度	用途により 20ppm~1,000ppm	アルコール分 75~85%程度	1,000ppm~%領域
pH	弱酸性 5~6.5 (肌が荒れない)	中性 7 (乾燥により肌が荒れる)	アルカリ性 8~10 (肌が荒れる)
腐食性	使用濃度によるが水と同等。	殆ど無視できる。	アルミ・ステンレス等腐食する。
毒性	殆ど無視できるが、高濃度下(1,000ppm以上)に長時間曝されると肌や呼吸器管が刺激されることがある	殆ど無視できるが、慢性毒性についての試験は未だ為されていない。 人体に対して皮膚刺激が見られる場合がある。	組織に対して高い刺激度が高く扱いづらい。クロロホルムなどの塩化副生成物が生成される。
生物分解性	製品自体および副生成物共に高い生物分解性を顕す	使用濃度によるが、程々に高くなる	それ自体適度の漂白性を持ち、他に含まれる成分にもよるが塩素系副生成物の生成で問題を起こす
適用ほか	飲料水および廃水の消臭・消毒用として使用可能。	乾燥面の表面用殺菌剤として使用される。	廃水用消臭剤としてのほか、飲料水の消毒剤として限定認可されている
コスト概略	比較的安価	比較的高価	安価
洗浄効果	水と同等なので特に無い。	バイオフィルムに浸透する能力を示すが、他は無い。	漂白作用があり、油やグリースのための洗浄剤としても利用される。